

令和7年度入学試験問題(前期)

小論文

(医学部保健学科)

(90分)

【注意事項】

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 試験中に落丁・乱丁や印刷の不鮮明な箇所などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
- 解答用紙を別に配付しています。解答は、問題と同じ専攻、同じ番号の解答用紙に記入して下さい。指定の解答用紙以外に記入したものは無効です。
- 監督者の指示に従って、解答用紙の指定された欄に受験番号を記入して下さい。
- 解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合には、1マスに2文字ずつ入れて下さい(ただし、字数が奇数の場合は、末尾の1文字は1マスに入れて下さい)。
- 問題は、専攻によって異なります。
 - ①看護学専攻
 - ②理学療法学専攻
 - ③作業療法学専攻
- 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って下さい。

1

(医学部保健学科看護学専攻)

以下の(1)(2)について、合わせて800字以内で記述しなさい。

- (1) 以下の文章における著者の主張を要約しなさい。また、図1及び図2から読み取れることを述べなさい。合わせて400字程度とすること。
- (2) (1)を踏まえ、あなたが考える「がん終末期看護で重要と思うこと」について、400字程度で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：阪本良弘. 『がんと外科医』 岩波書店. 2020. より抜粋, 一部改変

図1 および図2の調査の概要

- 対象：一般病院の看護師 313 名（回収数 215 部、回収率 68.7%）
- 調査方法：無記名のアンケート調査
- 回答者の概要：年齢は 22～59 歳、平均 40.8 歳、看護師経験は 3 か月～38 年、平均 18.8 年、そのうち、がん終末期看護の経験は 0 か月～30 年、平均 5.7 年

著作権の関係上、省略します。

図1 がん終末期看護に対する看護実践認識度

※看護実践認識度は、行っていない = 1 点、あまり行っていない = 2 点、時々行っている = 3 点、たいてい行っている = 4 点、行っている = 5 点とし、平均点を算出

※平均点が高いほど、看護実践認識度が高いことを意味する

著作権の関係上、省略します。

図2 がん終末期看護に対する看護実践困難度

※看護実践困難度は、全くない = 1点、あまりない = 2点、少しある = 3点、非常に = 4点とし、平均点を算出

※平均点が高いほど、看護実践困難度が高いことを意味する

出典：井上恵子、後藤順子、佐藤寿晃. 「一般病棟におけるがん終末期看護に対する看護師の意識調査」『山形保健医療研究』第18号(2015年)よりデータを得て作成

2**(医学部保健学科理学療法学専攻)**

健康を維持するためには、ウォーキングが推奨されています。その効果については下記の記事のように、しっかりしたデータがあって、エビデンスに基づいた理論背景があります。この方法は、元気で健康な方であれば実践可能かもしれません。しかし、現実には膝が痛いとか、心臓に不安があるなど簡単には実践が難しいケースもあると思います。そのような方に対してモチベーションをもって運動を実践してもらえるようなアイデアを考え、提案してみて下さい。その際、データに基づく根拠は不要ですが、なぜその方法がよいと思ったか、利点などを含めてあなたの考えを加えて下さい(800字以内)。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：糖尿病患者さんと医療スタッフのための情報サイト「糖尿病ネットワーク」

生活エンジョイ物語：2022年02月04日(<https://dm-net.co.jp/calendar/2022/036420.php>)より抜粋、一部改変

3

(医学部保健学科作業療法学専攻)

現在、日本では少子高齢化に伴う地方交通機関の利用者の減少が進み、地方交通機関の廃線や鉄道駅の無人化が進んでいます。以下の文章は駅の無人化についての新聞記事です。この記事を読んで、記事が提起している問題点と解決策についてのあなたの意見を800字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：朝日新聞 2020年11月22日朝刊（「朝日新聞記事クロスサーチ」から）より抜粋、一部改変